学部内共有時間

令和2年度 医学部 別表(1)

医学部 第1学年 前期

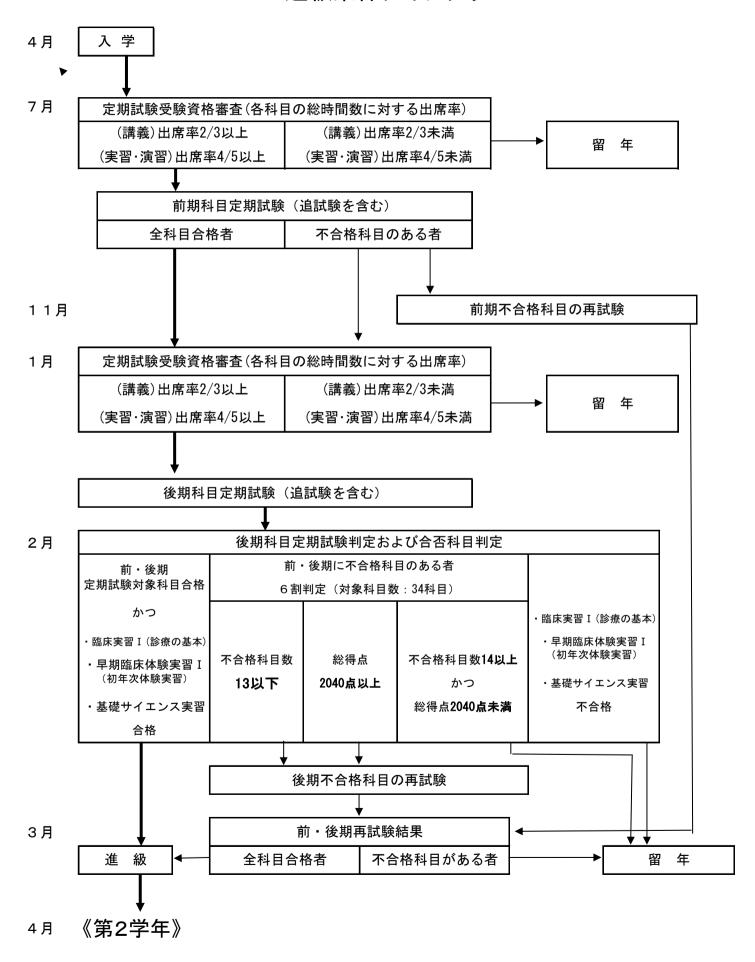
単位 備考 医療物理学 1 有機化合物の構造と性質 1 細胞の構造と機能 1 必 遺伝子と生命活動 1 生物の進化と多様性 1 1 統計的推測の基礎 科 Freshman English A 1 目 English for Healthcare Communication 1 修 ヒューマン コミュニケーションA 1 健康と運動の科学 1 アカデミックスキルズ 1 ドイツ語A 1 フランス語A 1 中国語A 1 日本語文章論A 1 文学A 1 3 美術A 1 教 科 人間と宗教 1 ジェンダーの社会学 1 目 養 社会関係と自己 1 選 民主主義と政治構造 1 科 択 法学 1 数学A* 1 必 目 医療心理学 1 修 感染症とバイオセーフティ 1 植物と健康の科学 1 情報リテラシー 1 療法的な音楽活動 1 医療人のための教養とマナー* 1 プロフェッショナリズム I (医師への序章) 1 必 形態学概論 I 1 修 科目 人体骨格の基礎

医学部 第1学年 後期

	科 目 名	単位	備考
	生体の物質的代謝	1	
	個体の調節機構とホメオスタシス	1	
	統計手法の応用	1	必
基	推測統計(演習)	1	~_
礎	行動医学 I (人の行動と心理)	1	
科	Freshman English B	1	
目	Paragraph Writing	1	
	ヒューマン コミュニケーションB	1	修
	健康とスポーツの科学	1	
	チーム医療の基盤	1	
	ドイツ語B	1	
	フランス語B	1	
	中国語B	1	
	日本語文章論B	1	
	文学B	1	
	美術B	1	
	医療人としてのコミュニケーション入門	1	3
教	薬用植物の科学	1	科
	ジェンダーの社会学	1	
養	歴史遺産への招待(京都)	1	
	法学	1	選
科	数学B*	1	択
	感染症とバイオセーフティ	1	必
目	死生観	1	
	近代家族論	1	修
	国際政治学	1	
	ヒトのための地球環境論	1	
	植物と健康の科学	1	
	ポートランド州立大学サマープログラム	1	
	感性を掘り下げる色彩と造形	1	
	医療人のための教養とマナー*	1	
専	医化学	1	
門	生理学	1	必
科目	形態学概論Ⅱ	1	修
,	早期臨床体験実習 I (初年次体験実習)	1	

基礎科目	地域医療入門	2	必修 (通期)
専門科目	臨床実習 I (診療の基本)	1	必修 (通期)
専門科目	基礎サイエンス実習	1	必修 (通期)

令和2年度 医学部 第1学年 進級条件ダイアグラム



履修要項抜粋(一部改編)

【定期試験等を受ける講義科目について】

- 1. 試験には定期試験、臨時試験、追試験、再試験がある。
 - 前期および後期定期試験の不合格科目については再試験を行うが、後期定期試験後の判定で取得科目数が所定の科目数の60%以上、あるいは所定の科目の総得点が合格基準点の総和以上の何れかに該当した者について所定の時期に行う。
- 2. 病気その他やむを得ない理由で定期試験を欠席した者に対しては、追試験を行う。 追試験の成績はその得点の80%とする。ただしインフルエンザ等の学校保健安全法で定められた感染症による欠席や忌引で欠席した場合の追試験の得点はその得点とするが、最高得点は各科目の最高点の90%とする。
- 3. 再試験の追・再試験は行わない。
- 4. 各科目の総時間数の 2/3 以上出席しなかった者には定期試験の受験資格が与えられない。したがって、留年となる。

【実習・演習科目について】

- 1. 実習および演習については、原則として、各科目の総時間数の 4/5 以上出席しなければその科目の成績を 0 点とする。
- 2. 実習を欠席する場合は担当教員へ理由を申し出ること。

【進級について】

1. 各学年を2年以内に修了できない者は、特別な理由がない限り、成業の見込みがない者とする。 なお、当該年数に休学期間は算入しないが、通算して6年を超えることはできない。

【その他】

1. 授業欠席届

長期に渡って授業を欠席した場合には「授業欠席届」、インフルエンザ等の感染症で授業を 欠席した場合には「学校感染症による授業欠席届」を帰寮後に証明書と併せて事務課に提出 する。

- 2. 忌引きについて
 - 1) 忌引きとなる期間

次に掲げる期間とする。なお、葬儀のため遠隔の地に赴く場合にあっては、往復に要する 日数を加えた日数とする。

- (1) 配偶者及び1親等の場合は、連続5日(休日を含む。) の範囲内の期間
- (2) 2 親等の場合は、連続 3 日 (休日を含む。) も範囲内の期間。
- 2) 忌引き届けは事務課に提出すること。
- 3. 既修得単位の認定について
 - 1) 入学前の既修得単位の認定
 - ・教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に他の大学又は短期大学(外国の大学含む。) において修得した単位を、前条と合わせて60単位(編入学、転学等の場合を除く)を超えない範囲で、本学において修得したものと認定することができる。
 - ・前項による単位の認定に関する手続き、その他必要な事項については、別に定める。

2) 単位認定の申請

既修得単位の認定を受けようとする学生は、既修得単位認定申請書(別記様式)に単位取得を証明する書類を添え、下記期日までに学長に提出しなければならない。

前期:新型コロナウイルス感染拡大の影響により、遠隔授業となったため、単位認定は不可。 後期:新型コロナウイルスが終息し、通常授業となった場合に告知します。

3) 単位の成績評価

認定した授業科目の成績評価については、取得した評価を本学の成績評価の最低基準にあて はめ、単位数は本学の当該科目の単位数とする。その単位数とともに、学籍簿に表示し、学 生に通知する。

4) 出席

認定した授業科目については、すべて出席したこととみなす。

4. 英検資格取得者および TOEIC 基準成績取得者に対する認定

1) 単位の基準・申請

英検(文部省認定実用英語技能検定)1級・準1級資格取得者およびTOEIC(国際コミュニケーション英語能力テスト)750点以上の得点取得者は、単位認定を受けることができる。

2) 評価

認定した英語科目の成績の評価は「80点」・「A」とし、その単位数とともに、学籍簿に表示し、学生に通知する。

3)期日

前期:新型コロナウイルス感染拡大の影響により、遠隔授業となったため、単位認定は不可。 後期:新型コロナウイルスが終息し、通常授業となった場合に告知します。

5. 転部入学試験制度および転科試験制度

第1学年修了見込みの学生で学業・人物ともに優秀な者を対象に、転部入学試験制度および 転科試験制度を設けている。これは第2学年から転部または転科する制度で、第1学年在学 中に募集する。ただし、推薦で入学した者は対象外とする。

転部・転科合格者は春休み期間中に転部・転科先の専門科目の補講履修を受けなければならない。

昭和大学GPA (Grade Point Average) 実施要項

1. 目的

本学では、客観的な評価システムとして国際的に認知されているGPA制度に関する事項を定め、学生の学習到達度を明確化して、学修指導と教育の質の保証に資することを目的とする。

2. 成績評価区分及び Grade Point (GP) の取扱いについて 下表の評価区分により各科目の学年成績に対して Point を付与する。

評価	成績評価基準	評価内容		判定
秀 (S)	100~90 点	到達目標を十分に達成しており、きわめて優秀	4	合格
		な成績を示している。		
優 (A)	89~80 点	到達目標を達成しており、優秀な成績を示して	3	合格
		いる。		
良 (B)	79~70 点	到達目標の達成は、望ましい水準に達しており、	2	合格
		妥当な成績を示している。		
可 (C)	69~60 点	到達目標の達成は、望ましい水準には不十分だ	1	合格
		が、不合格ではない。		
不可 (D)	59 点以下	不合格	0	不合格

3. G P A 算出方法

 $4\times$ (S)取得单位数 + $3\times$ (A)取得单位数 + $2\times$ (B)取得单位数+

1×(C)取得単位数 +0×(D)取得単位数

①当該年度GPA=_

当該年度履修単位数(不可(D)の単位を含む。)

 $4\times$ (S) 取得単位数 + $3\times$ (A) 取得単位数 + $2\times$ (B) 取得単位数+

 $1\times$ (C) 取得単位数 $+0\times$ (D) 取得単位数

②累積GPA=

総履修単位数 (不可 (D) の単位を含む。)

※小数点第3位を四捨五入する。

4. GPA 算出の対象科目

5 段階評価(秀・優・良・可・不可)によって成績を認定された科目 「合格・不合格」による評価は、対象としない。

5. GPAの利用について

指導担任からの学修指導に関する参考資料とする。

6. 成績証明について

授業科目名と成績評価(S・A・B・C)を記載する。留学等でGPAが要求される場合は英文成績証明書にGPAを記載する。

7. 適用

本実施要項は、平成27年度入学者から適用する。

試験施行細則

- 1. 試験場においては所定の席に着席しなければならない。
- 2. 学生証を机上の指定された位置に置くことを原則とする。また、学生証を忘れた場合は学務課(長津田・富士吉田校舎は事務課)で受験許可の手続をしなければならない。
- 3. 試験開始前、筆記用具以外のものはすべて所定の場所に置かなければならない。
- 4. やむをえぬ理由で欠席をする場合は、試験開始前に必ず学務課(長津田・富士吉田校舎は事務課)に連絡し、原則として診断書等欠席の理由が客観的に分かるものを提出すること。なお、連絡なく欠席した場合は、その試験の成績を 0点とする。
- 5. 遅刻者は原則として受験させない。ただし、やむをえぬ理由(寝坊、試験日時の間違え、具合が悪い(受験に差し支えない程度のもの)はやむを得ぬ理由にはならない)で遅刻した者は監督者が許可した場合に限り、試験開始後20分以内ならば受験させることがある。
- 6. 遅刻者に対し当日の連絡は原則として行わない。
- 7. 試験開始後、指定された時間以外の退室は認めない。
- 8. 試験を終え指定された時間に退室する者は解答用紙を監督者の指示に従い取り扱うものとする。
- 9. 試験終了の合図と同時に、解答用紙を裏返しにして机上に置き解答用紙を回収しおわるまで席を立たないこと。なお、これに従わない場合には不正行為とみなされることがあるので特に注意すること。また、解答用紙を提出しない場合は 0 点とする。
- 10. 不正行為または同行為とみなされるような行為のあった場合は下記の通り処分する。
 - 1) 当該年を留年とする。
 - 2) 学部長 (第1学年においては富士吉田教育部長) は当該者に対し、父兄同席のもとに厳重なる戒告を行い、誓約書を提出させる。
 - 3) 誓約に反し、再度上記の行為を行った者に対しては、各学部教授(総)会の審議を経て学長が停学または退学の処分を行う。
- 11. その他、試験場では監督者の指示に従うこと。

附 則

- 1. この施行細則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2. この施行細則の改廃は、各学部・富士吉田教育部教育委員会の審議を経て、各教授会の承認を要するものとする。

定期試験追試験施行細則

- 1. 病気や両親、兄弟姉妹、祖父母の忌引などやむを得ない理由により、定期試験を受験できなかった者に対して所定の期日に追試験を行う。追試験の追試験は行わない。
- 2. 追試験の受験者は当該試験欠席届、診断書等および追試験願を学務課(事務課)に提出しなければならない。追試験の受験者には受験料を課する。
- 3. 追試験の成績はその得点の80%とする。ただしインフルエンザ等の学校保健安全法で定められた感染症による欠席や忌引で欠席した場合の追試験の得点はその得点とするが、最高得点は各科目の最高点の90%とする。

附 則

- 1. この施行細則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2. この施行細則の改廃は、各学部・富士吉田教育部教育委員会の審議を経て、各教授会の承認を要するものとする。

教室利用、受講の際の注意事項

学 長

医療人を目指し学ぶ者として、講義・実習・演習等の授業、また大学の諸行事に臨む際は、学内外を問わず、以下のことを守ること。万一、守られない場合は、状況により教室・実習場所等からの退去を命じられ、その授業等が欠席扱いとなります。

- (1) 私語をしない。
- (2) 授業と関係の無いもの(ペットボトルなどの飲物も含む。) は机の上に置かない。
- (3) 飲食(あめを舐めたりガムを噛むことも含む)をしない。
- (4) 授業と関係ないことを行わない。(ゲーム、雑誌・漫画の閲覧他)
- (5) 学生生活ガイド、シラバス等の学業に関連する目的を除き、PC、携帯電話(スマートフォン含む)、タブレット端末を使用しない。

(電源を切るかマナーモードとし、通話・メールは行わない)

- (6) 頭髪・髭・アクセサリーについて
- ①茶髪など脱色・染色した頭髪を禁止する。
- ②男性は頭髪が襟足や耳にかからないこと。髭は伸ばさないこと。
- ③女性は頭髪が肩にかからないようにし、かかる場合は頭髪と同系色のピン、 ゴム等でひとつにまとめること。
- ④アクセサリー(指輪・ピアス・ネックレス等)は取り外すこと。

令和2年度 医学部時間割

M1 前期(4月21日(水)~7月15日(水))

	1限(8:45~10:15)	2限(10:30~12:00)	3限(13:15~14:45)	4限(15:00~16:30)	5限(16:40~18:10)
	健康と運動の科学(堀川)				
月	ヒューマンコミュニケーションA(田中(周))				
	地域医療入門(剣持)				
	アカデミックスキルズ(倉田)				
	Ma Freshman English A (高橋(留))				
火	Mb English for Healthcare Communication(早坂)	有機化合物の構造と性質 (山本(雅))	医療物理学(本多)	細胞の構造と機能(長谷川)	
	Mc English for Healthcare Communication (Nehls)				
			基礎サイエンス実習(稲垣)3限~5限		,
水	遺伝子と生命活動(長谷川)	形態学概論 I (大塚)	臨床実習 I (診療の基礎)(泉)3限		
			人体骨格の基礎(大塚)3限~5限	- 人体骨格の基礎(大塚)3限~5限	
木	Ma English for Healthcare Communication (Olagboyega)				
	Mb Freshman English A (高橋(留))	プロフェッショナリズム I (医師への序章)(髙宮)) 統計的推測の基礎(小倉(浩))	生物の進化と多様性(萩原)	
	Mc Freshman English A (高橋(留))				
		ドイツ語A(戸口)	ドイツ語A(戸口)		
	フランス語A(増田)	フランス語A(増田)	フランス語A(増田)		
	中国語A(杜)	中国語A(杜)	中国語A(杜)		
	日本語文章論A(田中(周))	文学A(田中(周))	日本語文章論A(田中(周))		
	美術A(森山)	美術A(森山)	美術A(森山)		
	人間と宗教(蓮池)	人間と宗教(蓮池)	人間と宗教(蓮池)		
金	ジェンダーの社会学(須長)	社会関係と自己(須長)	社会関係と自己(須長)		
	民主主義と政治構造(滝本)	民主主義と政治構造(滝本)	民主主義と政治構造(滝本)		
	植物と健康の科学(猪俣)	植物と健康の科学(猪俣)	植物と健康の科学(猪俣)		
	情報リテラシー(天野)	情報リテラシー(天野)	情報リテラシー(天野)		
	感染症とバイオセーフティ(荒田)	感染症とバイオセーフティ(荒田)	感染症とバイオセーフティ(荒田)		
	療法的な音楽活動(松本、丸山)	療法的な音楽活動(松本、丸山)	療法的な音楽活動(松本、丸山)		
	医療心理学(小林(如))	医療心理学(小林(如))	医療心理学(小林(如))		
	法学(城)	法学(城)	法学(城)		
土	(補 講)	(補 講)	(補 講)	(補 講)	

[※]上表中のa、b、cは、各学生が属するクラスを表す。

[※]各講義の使用教室については、1号館1階の「授業関係」掲示板および電子シラバスにて別途通知する。

[※]月曜日はA~Dの学部横断4クラスに分かれて受講する。クラス分けについては、1号館1階の「授業関係」掲示板にて別途通知する。

M1 後期(9月23日(水)~12月24日(木))

	1限(8:45~10:15)	2限(10:30~12:00)	3限(13:15~14:45)	4限(15:00~16:30)	5限(16:40~18:10)	
	健康とスポーツの科学(堀川)					
月	ヒューマンコミュニケーションB(田中(周))					
/ 3	地域医療入門(剣持)					
	チーム医療の基盤(倉田)					
				Ma Freshman English B		
				(高橋(留))		
火	統計手法の応用(小倉(浩))	医化学(宮崎)	生体の物質的代謝(稲垣)	Mb Freshman English B (高橋(留))		
				(旧)(同(田//		
				Mc Freshman English B (高橋(留))		
			吹広字羽 I (診療の其本) (白) 9四			
水	行動医学 I (人の行動と心理) (小林(如))	形態学概論Ⅱ(本田)	臨床実習 I (診療の基本)(泉)3限 基礎サイエンス実習(稲垣) 3限~5			
		Ma Paragraph Writing(Olagboyega)	本版リイエンハ天自(相互) り以 り	PJX		
木	推測統計(演習)(樋口))	Mb Paragraph Writing(角田)	個体の調節機構とホメオスタシス (長谷川)	生理学(金丸)		
		Mc Paragraph Writing (Mindog)		工坯子(並凡)		
		ドイツ語B(戸口)	ドイツ語B(戸口)			
		フランス語B(増田)	フランス語B(増田)			
	 中国語B(杜)	中国語B(杜)	中国語B(杜)			
	美術B(森山)	美術B(森山)	美術B(森山)			
	医療人としての	医療人としての	医療人としての			
	コミュニケーション入門(杉原)	•				
		薬用植物の科学(平井)				
Δ.	ジェンダーの社会学(須長)	近代家族論(須長)	近代家族論(須長)			
金	日本語文章論B(田中(周))	文学B(田中(周))				
	死生観(蓮池)	死生観(蓮池)	死生観(蓮池)			
	国際政治学(滝本)	国際政治学(滝本)	国際政治学(滝本)			
	植物と健康の科学(猪俣)	植物と健康の科学(猪俣)	植物と健康の科学(猪俣)			
	感染症とバイオセーフティ(荒田)	感染症とバイオセーフティ(荒田)				
		ヒトのための地球環境論(長谷川)	ヒトのための地球環境論(長谷川)			
		法学(城)	法学(城)			
	医療人のための教養とマナー(長谷川)	医療人のための教養とマナー(長谷川)				
			歴史遺産への招待(京都)(佐野)			
			感性を掘り下げる色彩と造形(荒田))			
			ポートランド州立大学 サマープログラム(橋本)			
	/L4: -44\	(#c 41)				
土	(補 講)	(補 講)	(補 講)	(補講)		

[※]上表中のa、b、cは、各学生が属するクラスを表す。

[※]各講義の使用教室については、1号館1階の「授業関係」掲示板および電子シラバスにて別途通知する。

[※]月曜日はA~Dの学部横断4クラスに分かれて受講する。クラス分けについては、1号館1階の「授業関係」掲示板にて別途通知する。

M1 後期(1月13日(水)~1月14日(木))

	1限(8:45~10:15)	2限(10:30~12:00)	3限(13:15~14:45)	4限(15:00~16:30)
13(水)		形態学概論Ⅱ(本田)	生理学(金丸)3限~4限	
14(木)	行動医学 I (人の行動と心理)(小林(如))1限~2限		生理学(金丸)3限~4限	

M1 後期(1月18日(月)~1月20日(水))

	1限(8:45~10:15)	2限(10:30~12:00)	3限(13:15~14:45)	4限(15:00~16:30)	
18(月)	統計手法の応用(小倉)1限~2限		生体の物質的代謝(稲垣)3限~4限		
19(火)	() 統計手法の応用(小倉) 医化学(宮崎)		生体の物質的代謝(稲垣)3限~4限		
20(水)	行動医学 I (人の行動と心理)(小林(如))	形態学概論Ⅱ(本田)	生理学(金丸)	個体の調節機構とホメオスタシス(長谷川)	